

絆サロン終了

西成田 史郎

今年度は4月から開催した「絆サロン」も11月で無事終了すること事が出来ました。

本来ならば通年での開催を出来れば良いのですが、厳しい冬、雪の中を出て来るのが大変では、との思いから期間限定での開催となっています。

毎月新しい患者・家族の方が不安を抱えて参加して来ました。

告知を受けて、絆サロンの存在を ALS 支部ホームページ、保健センター、介護事業所、ケアマネージャー等に聞いての参加者も数多くいました。

絆サロンもかなり認知度が高くなっています。

患者・家族の色々な悩みを聞いて、解決のアドバイスをするために支部としても福祉制度や医療制度、治療方法の現状等をもっと勉強しなければと痛感しました。

参加者の多くの方からは、病気に対する不安が和らいだ、他の患者さんの話を聞いたり、生き方を見て希望が出て来た、自分の知らなかった福祉制度の利用の仕方が分かった等の意見もありました。

患者同志の情報交換の場としても役立っています。

支部としても、絆サロンで出来た人間関係を大事にして、患者・家族が安心して療養生活が出来る様に共に歩んでいきたいと思えます。

絆サロンには、福祉・医療等の専門家の方々にも参加してもらいました。

直接患者・家族の方々の相談にも協力を頂きました。人工呼吸器をつけた患者さん同志の口文字での会話で盛り上がった月もありました。

最後に、この1年間絆サロンに協力を頂いた介護、福祉、医療関係者の皆さん、難病連の相談室の方と、多くの人達の支えに依って実りあるサロンになりました。1年間ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。